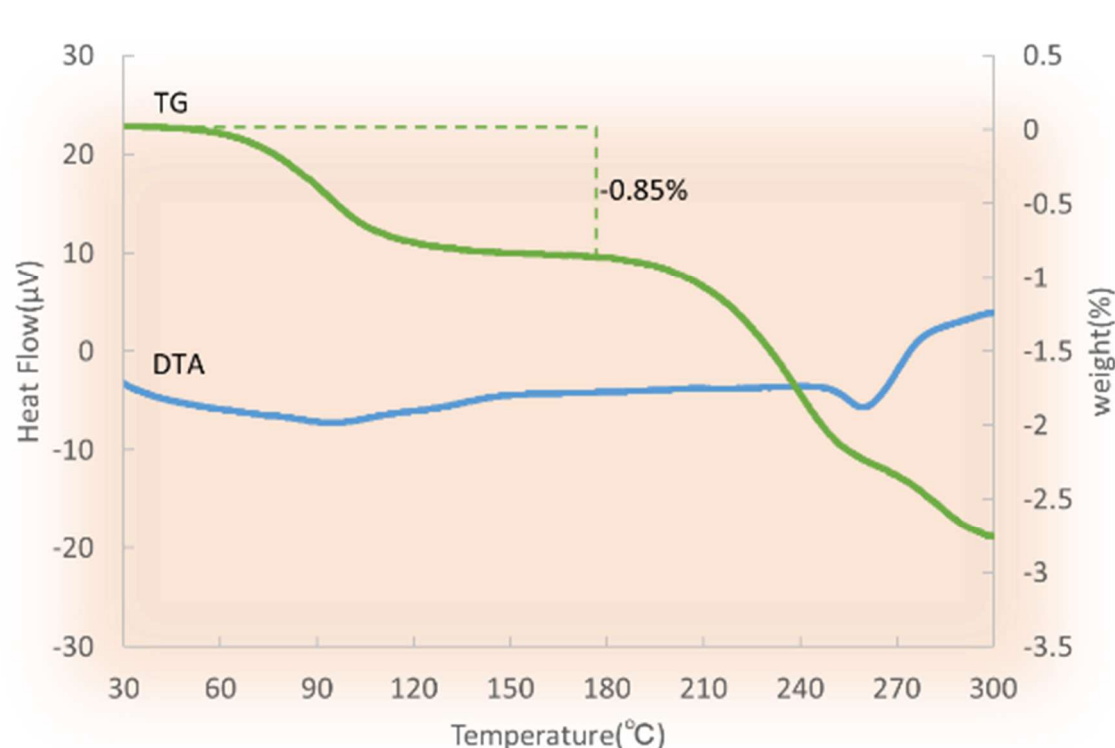


低露点環境下における

TG-DTA 測定

<TG-DTA>

TG-DTA では、加熱による試料の重量変化 (TG) 測定と示差熱分析 (DTA) を同時に行うことができます。低露点環境下で TG-DTA 測定を行うことによって電池材料の大敵である水分の定量測定を行うことができます。



試料観察モードでは、温度上昇に伴う試料の変化を目視で観察することができます。アルカリ物質のような石英を腐食するガスが発生する試料は除きます。

<ドライボックス>

東海技術センターでは、電池材料の分析に必要不可欠である「低露点・低酸素環境」の実現のために、ガス循環生成装置付ドライボックスを導入しております。熱分析だけではなく、大気暴露を嫌う試料のハンドリングや簡単な前処理等も可能です。

	保証値	実測値
露点	-7.6°C (1ppm 以下)	-8.5°C 以下
酸素	1ppm 以下	0.5ppm 以下



<熱分析>

熱分析では、電池材料の熱安定性の評価、分解温度の測定、燃焼特性、酸化還元反応の解析等を行うことができます。

また DSC (示差走査熱量測定) や TG-MS を用いて電極バインダーの評価を行うことができます。

